

令和２年松前町議会第２回定例会行政報告の概要

令和元年度各会計の決算概要について

令和元年度各会計の決算概要について、ご報告申し上げます。

はじめに、一般会計でございますが、歳入総額５８億４，２１０万１，９７４円、歳出総額５６億８，３０１万４，３９７円で、歳入歳出差引残額が１億５，９０８万７，５７７円となり、令和２年度への繰越明許費繰越財源分９万８，８００円を除いた１億５，８９８万８，７７７円が実質収支となり、このうち５，０００万円につきましては翌年度へ繰り越しし、残額につきましては全額財政調整基金に編入したところでございます。

次に、特別会計について申し上げます。

国民健康保険特別会計につきましては、歳入総額１１億１，０４２万９，９２６円、歳出総額１１億３１９万１，７１９円で、歳入歳出差引残額が７２３万８，２０７円となり、翌年度へ全額繰り越ししております。

次に、介護保険特別会計につきましては、保険事業勘定で、歳入総額１０億２，２８５万２，１３８円、歳出総額９億８，８２７万３，２６７円で、歳入歳出差引残額が３，４５７万８，８７１円、サービス事業勘定では、歳入総額１，３１６万９４５円、歳出総額１，２７２万８１１円で、歳入歳出差引残額が４４万１３４円となり、それぞれ翌年度へ全額繰り越ししております。

次に、後期高齢者医療特別会計につきましては、歳入総額１億１，７５９万９５８円、歳出総額１億１，６９３万１，９２７円で、歳入歳出差引残額が６５万９，０３１円となり、翌年度へ全額繰り越ししております。

次に、水道事業会計につきましては、令和２年３月３１日をもって事業を終了いたしました。

この期間における収益的収入は、消費税込みで１億９，２５８万４，１８５円、収益的支出は、消費税込みで１億６，０６３万４，９８２円となり、利益は３，１９４万９，２０３円となるところでありますが、資本的

収支勘定等における消費税の支出が1,119万6,336円となるため、当年度の純利益は、2,075万2,867円となります。

また、資本的収入は、消費税込みで1億1,258万6,000円、資本的支出は、消費税込みで1億9,352万2,266円となり、差し引き8,093万6,266円の不足を生じましたが、この措置につきましては、減債積立金100万円、過年度分損益勘定留保資金5,259万1,356円、当年度分損益勘定留保資金1,776万7,469円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額957万7,441円で補てんし、決算を終了いたしました。

最後に、病院事業会計でございますが、令和2年3月31日をもって事業を終了いたしました。

この期間における収益的収入は、消費税込みで12億9,589万9,549円、収益的支出は、消費税込みで13億50万1,348円となり、損失は、460万1,799円となるところですが、資本的収支勘定における消費税の支出が340万4,975円となるため、当年度の純損失は、800万6,774円となります。

また、資本的収入は、消費税込みで3,859万9,668円、資本的支出は、消費税込みで5,592万5,413円となり、差し引き1,732万5,745円の不足を生じましたが、この措置につきましては、減債積立金100万円、過年度分損益勘定留保資金1,632万5,745円で補てんし、決算を終了いたしました。

令和元年度各会計事務、事業の推進にあたり、議員の皆様並びに町民の皆様のご協力に対しまして、心から厚くお礼を申し上げます。